

5 豊かな自然環境の保全と安全・安心な環境づくり

自然豊かな水辺環境づくり

《主な施策》

● 自然豊かな水辺環境の整備・保全

- ・ 河道の連続性に配慮した砂防施設の整備 【居辺（おりべ）川（上士幌町）など】
- ・ ラムサール条約登録湿地等における自然再生事業の推進
【釧路湿原・幌呂（ほろろ）地区（鶴居村）、
夕張川（南幌町）、久著呂（くちよ）川（標茶町など）など】
- ・ 良好な水辺環境の保全・創出を推進
【天塩川（天塩町など）、沙流川（平取町）、網走川（網走市）、
当別川（当別町）、雨煙別川（栗山町）など】
- ・ 緑豊かな水辺環境に配慮した砂防施設の整備
【蒜沢（にんにくさわ）川（函館市など）など】
- ・ 水生生物の生息環境を創出する防波堤の整備 【釧路港（釧路市）】
- ・ 在来植生に配慮した急傾斜崩壊防止施設の整備 【釧路南大通1地区（釧路市）など】

▼ 河川環境の再生や自然に配慮した施設整備

- 釧路湿原（ラムサール条約登録湿地）の陸地化・乾燥化の一因となる土砂の流入を軽減する土砂調整地の整備イメージ



- 緑豊かな水辺環境に配慮した遊砂地



- 水生生物の生息環境を創出する防波堤の整備



- 在来植生に配慮した急傾斜地



地球温暖化防止や健全な水環境に貢献する森林づくり

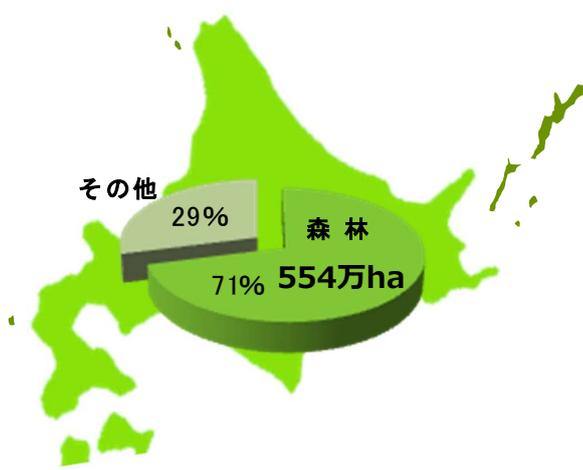
《主な施策》

● 健全な森林の整備と保全の推進

- ・ 伐採後の確実な植林や間伐、路網整備などの森林整備の推進
 - 【森林環境保全整備事業（浦幌町、北見市など）】
 - 【森林基盤整備事業（新ひだか町、長万部町など）】
 - 【林道整備（地方創生道整備交付金）（乙部町）】
- ・ 保安林の整備や適切な管理・保全の推進
 - 【保安林整備事業（函館市、美深町など）】
 - 【水源地域整備事業（蘭越町、むかわ町など）】

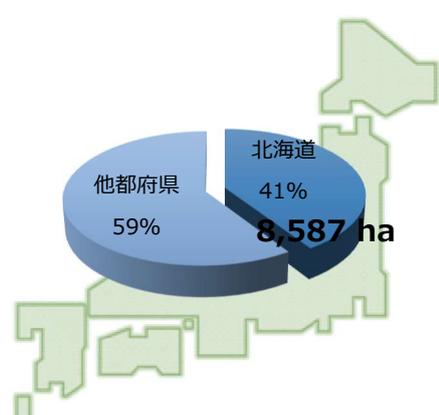
▼ 森林整備の推進

○ 森林面積の道内シェア（H28）



▼ 保安林の整備や保全の推進

○ 造林面積の全国シェア（H28）



重点項目 ○森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化（P37）

誰もが安心して暮らせるまちづくり

《主な施策》

- **子育て支援住宅の普及促進など安心して子どもを産み育てられる環境づくり**
 - ・ **子育て支援の充実を図る道営住宅の整備**
【道営住宅：大中山団地（七飯町）、であえーる宮下東団地（旭川市）など】
 - ・ **公園施設の改築更新による安全で安心して利用できる、魅力ある公園の整備**
【北海道子どもの国（砂川市）、里見が丘公園（足寄町）など】
- **ユニバーサルデザインの視点に立った人にやさしいまちづくり**
 - ・ **子どもからお年寄りまで安心して暮らせる住まい・環境づくり**
【道営住宅：（仮称）白鳥台団地（室蘭市）、市町村営住宅：光洋団地（根室市）など】
 - ・ **幅の広い歩道や段差のない歩道の整備**
【北見枝幸停車場線（枝幸町）、停車場通（伊達市）、旭大通（苫小牧市）など】
 - ・ **民間住宅を活用した住宅セーフティネットの推進** 【民間住宅等関連事業（道内全域）】
- **安全で安心な道路交通環境の整備**
 - ・ **幹線道路や通学路等における交通安全事故対策の推進**
【国道230号喜茂別事故対策（喜茂別町）、大野上磯線（北斗市）、
基線通（恵庭市）、文教通（函館市）など】
 - ・ **地域の医療を支える交通ネットワークの整備**
【北海道縦貫自動車道 土別剣淵～名寄（土別市・名寄市）、
江差木古内線（上ノ国町、木古内町）など】

▼子育て支援住宅の普及推進



建物の中では・・・



▼ユニバーサルデザインによる公営住宅



取り外し可能な間仕切（身体状況の変化に応じて介助スペースの確保を可能とする多様性への対応例）

- 重点項目 ○少子化対策及び子どもの貧困対策の抜本的な強化・拡充（P5）
○高規格幹線道路網等の整備促進（P9）

《主な施策》

●冬期における安全で快適な道路交通の確保

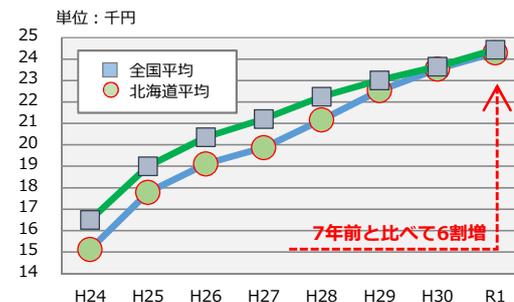
- 冬期交通確保のための除排雪の充実
【道内全域における除排雪の充実、除雪機械等の更新、増強（小樽市など）】
- 鉄道駅周辺・中心市街地・通学路などを中心とした歩道除排雪の充実
【道内全域における歩道除排雪の充実】
- 冬期を踏まえた歩行空間の確保のための広幅員歩道の整備
【国道242号道道本別留辺薬線交差点改良（本別町）、東川東神楽旭川線（東神楽町）】
- 地吹雪・雪崩対策など、冬に強い道路施設等の整備
【国道44号根室防雪（根室市）、国道238号紋別防雪（湧別町・紋別市）、江別奈井江線（新篠津村）、八雲北檜山線（八雲町）、八千代帯広線（帯広市）、根室半島線（根室市）、稚内幌延線（稚内市）など】

▼本道の現状を踏まえた除雪予算等の確保

○除雪予算の推移（H24～R1） ※R1の除雪費は過去5ヶ年の平均値から算出した見込額

◇労務費や諸経費率の増加により除雪予算は年々上昇

◇公共工事労務単価（全職種）は年々上昇

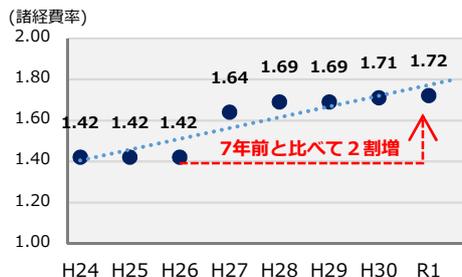


◇運搬排雪への影響（H29実績をR1単価で実施する場合）

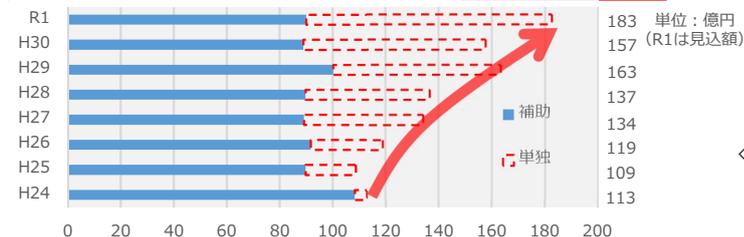


| | H29 | R1 | H29との差 | 備考 |
|--------|---------------------|---------------------|--------|-------------|
| 全排雪単価 | 504円/m ³ | 671円/m ³ | 167円増 | R1/H29=1.3 |
| 全道排雪回数 | 262回 | 197回 | 65回減 | H29排雪額：10億円 |

◇近年の除雪業務の諸経費率の推移



◇除雪予算の内訳 ※単独は増加傾向（道負担の増）

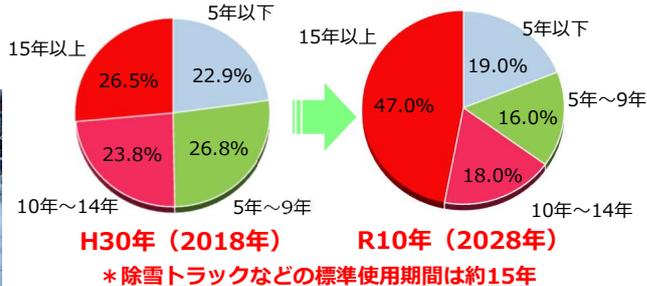


◇除雪が滞った場合の道路利用者への影響



◇保有除雪機械の経過年数

※今後10年で老朽化した機械が65%を占める



重点項目 ○高規格幹線道路網等の整備促進 (P9)

北海道らしい循環型社会の形成

《主な施策》

● リサイクル・廃棄物処理施設の整備

- ・ 廃棄物処理施設及び浄化槽の整備
【廃棄物処理施設（苫小牧市、富良野市）、浄化槽整備事業（岩見沢市、厚真町）など】
- ・ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設の整備
【雄武町、浦河町など】

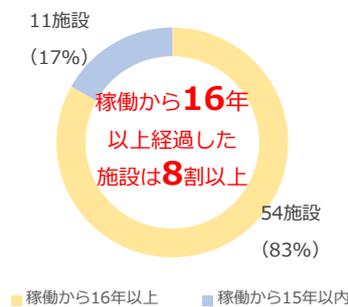
▼ 廃棄物処理施設の整備

○ 廃棄物処理の老朽化の状況

◇ 道内のごみ焼却施設の稼働年数別施設数

| 稼働年数 | 施設数 | 割合 |
|-------------------|-----|-------|
| 31年以上（1989～） | 16 | 24.6% |
| 26～30年（1990～1994） | 14 | 21.5% |
| 21～25年（1995～1999） | 14 | 21.5% |
| 16～20年（2000～2004） | 10 | 15.4% |
| 11～15年（2005～2009） | 4 | 6.2% |
| 6～10年（2010～2014） | 3 | 4.6% |
| 0～5年（2015～2020） | 4 | 6.2% |
| 合計 | 65 | 100% |

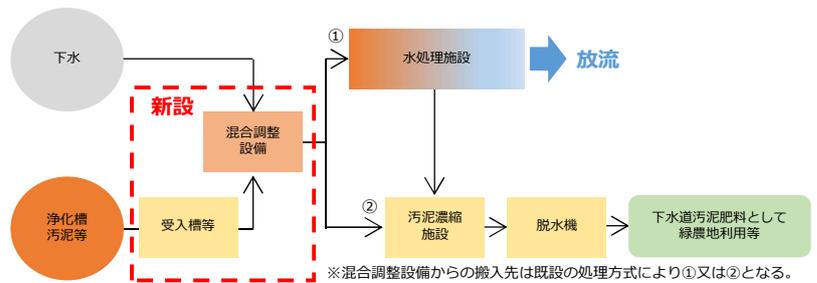
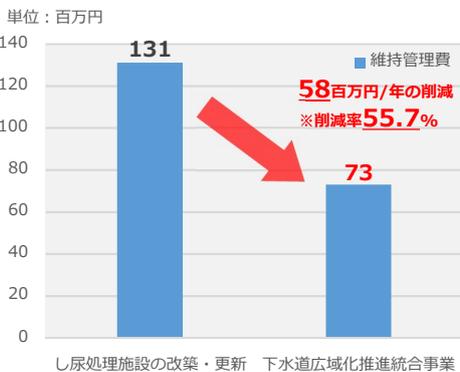
※焼却施設の一般的な耐用年数は15年と言われている



▼ 下水汚泥処理施設の整備

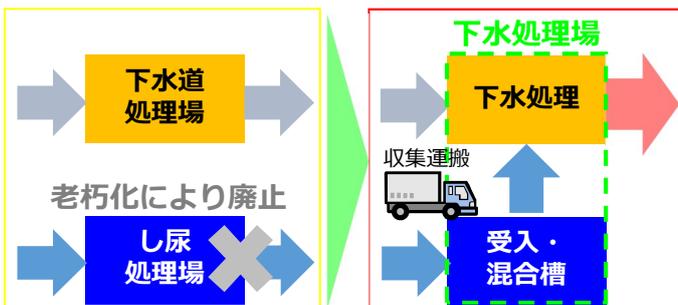
○ 下水汚泥処理施設の集約化及び減量化施設概要図

◇ 下水道広域化推進総合事業（旧称MICS）導入による効果事例（十勝川流域下水道事業 H30年4月導入）



行政施設の集約化による建設費・維持管理費の削減

○ し尿受入れ施設の整備



重点項目 ○北海道の強靱化と社会資本の老朽化対策等の推進（P19）